

調 査 の 概 要

- 1 この報告書は、住民基本台帳等人口調査要綱及び同要領に基づき、平成13年1月1日現在で調査したものである。
- 2 調査内容は、住民基本台帳法により、住民票に記載されている公帳簿上の世帯数及び人口（男・女）を、区市町村ごとに町丁（字）別、年齢各歳別に把握したものである。
- 3 住民基本台帳法の適用を除外されているもの（日本の国籍を有しない者及び戸籍法の適用を受けない者）は、調査の対象としていない。
- 4 町丁（字）制を施行していない地域等については、通常用いている区画（自治会、町会名称等）によることとしたが、利島村、神津島村、御蔵島村及び青ヶ島村については、村を1つの区画とした。

凡 例

- 1 統計表及び図表の数値は、特にことわり書きのない限り、各年1月1日現在の数値を示す。
- 2 市部、町村部の区域は、過去に遡って現在の区域に組み替えて表章した。
- 3 統計表において「-」印は皆無又は該当数のないことを示し、「△」印はマイナス（減）を示す。
- 4 統計表において割合を示す数値は、四捨五入してあるため、総数と内訳の合計が一致しない場合がある。
- 5 田無市と保谷市は平成13年1月21日に合併し、西東京市となったが、この報告書では調査時点である平成13年1月1日現在で作成してあるため、合併前の2市に分かれた表記になっている。

この報告書についての照会は

総務局統計部人口統計課人口動態統計係

電話 5321-1111 (代)

内線 25-511・512

5388-2531 (ダイヤル・イン)

結 果 の 概 説

1 1月1日現在人口

平成13年1月1日現在における東京都の住民基本台帳人口は11,823,029人で、前年に比べ72,678人(0.62%)の増加となっている。

調査開始(昭和32年)以来の推移をみると、55年、56年を除いて毎年増加していたものの、63年以降は減少を続けてきたが9年には増加に転じた。13年は5年連続して増加し、ピーク時の昭和62年を上回り過去最高となった12年をさらに上回った。

人口総数を男女別にみると、男性5,892,229人、女性5,930,800人であり、前年に比べ男性は35,099人(0.60%)、女性は37,579人(0.64%)増加した。人口性比(女性100人に対する男性の数)は99.3で、前年に比べ0.1ポイント低下し、平成8年から引き続き100を下回っている。

地域別にみると、区部人口は7,967,602人で、前年に比べ46,126人(0.58%)、市部人口は3,762,984人で、26,776人(0.72%)といずれも増加となっている。一方、町村部人口は92,443人で224人(0.24%)の減少となっている。

(表1、表2、図1、統計表第1表参照)

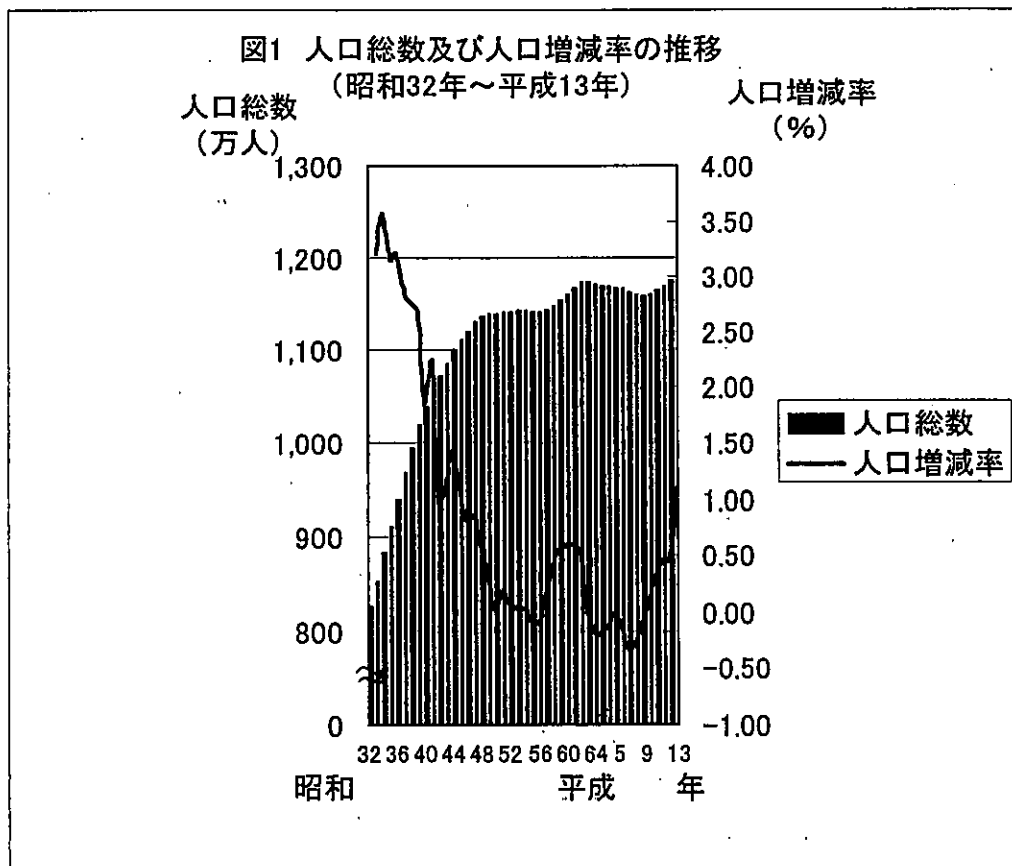


表1 人口総数及び男女別人口の推移（平成3年～平成13年）（単位 人、%）

年次	総数			男			女			人口 性比
	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率	
	%			%			%			
平成3	11,684,927	△ 13,133	△ 0.11	5,872,424	△ 10,974	△ 0.19	5,812,503	△ 2,159	△ 0.04	101.0
4	11,683,316	△ 1,611	△ 0.01	5,865,617	△ 6,807	△ 0.12	5,817,699	5,196	0.09	100.8
5	11,666,227	△ 17,089	△ 0.15	5,850,386	△ 15,231	△ 0.26	5,815,841	△ 1,858	△ 0.03	100.6
6	11,627,577	△ 38,650	△ 0.33	5,824,125	△ 26,261	△ 0.45	5,803,452	△ 12,389	△ 0.21	100.4
7	11,598,634	△ 28,943	△ 0.25	5,803,315	△ 20,810	△ 0.36	5,795,319	△ 8,133	△ 0.14	100.1
8	11,587,726	△ 10,908	△ 0.09	5,791,829	△ 11,486	△ 0.20	5,795,897	578	0.01	99.9
9	11,602,642	14,916	0.13	5,793,911	2,082	0.04	5,808,731	12,834	0.22	99.7
10	11,641,308	38,666	0.33	5,808,485	14,574	0.25	5,832,823	24,092	0.41	99.6
11	11,694,934	53,626	0.46	5,832,504	24,019	0.41	5,862,430	29,607	0.51	99.5
12	11,750,351	55,417	0.47	5,857,130	24,626	0.42	5,893,221	30,791	0.53	99.4
13年	11,823,029	72,678	0.62	5,892,229	35,099	0.60	5,930,800	37,579	0.64	99.3

表2 地域別人口の推移（平成3年～平成13年）（単位 人、%）

年次	区部			市部			町村部		
	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率
	%			%			%		
平成3	8,045,577	△ 46,124	△ 0.57	3,546,414	32,635	0.93	92,936	356	0.38
4	8,012,523	△ 33,054	△ 0.41	3,577,677	31,263	0.88	93,116	180	0.19
5	7,969,439	△ 43,084	△ 0.54	3,603,748	26,071	0.73	93,040	△ 76	△ 0.08
6	7,913,299	△ 56,140	△ 0.70	3,620,949	17,201	0.48	93,329	289	0.31
7	7,871,159	△ 42,140	△ 0.53	3,634,040	13,091	0.36	93,435	106	0.11
8	7,846,487	△ 24,672	△ 0.31	3,647,690	13,650	0.38	93,549	114	0.12
9	7,846,823	336	0.00	3,662,487	14,797	0.41	93,332	△ 217	△ 0.23
10	7,863,301	16,478	0.21	3,685,048	22,561	0.62	92,959	△ 373	△ 0.40
11	7,892,267	28,966	0.37	3,709,849	24,801	0.67	92,818	△ 141	△ 0.15
12	7,921,476	29,209	0.37	3,736,208	26,359	0.71	92,667	△ 151	△ 0.16
13年	7,967,602	46,126	0.58	3,762,984	26,776	0.72	92,443	△ 224	△ 0.24

2 年齢別人口

(1) 5歳階級別人口

人口総数を5歳階級別にみると、25～29歳が1,119,250人(9.47%)で最も多く、次いで30～34歳の1,023,874人(8.66%)、50～54歳の968,785人(8.19%)の順となっている。

5歳階級別人口を地域別にみると、区部、市部ともに25～29歳が772,236人、340,945人で最も多く、次いで、30～34歳の706,135人、312,266人、50～54歳の653,764人、306,341人となっている。

一方、町村部は、50～54歳の8,680人(9.39%)が最も多く、次いで55～59歳の6,852人(7.41%)、45～49歳の6,791人(7.35%)の順となっている。

(表3 参照)

表3 地域別、年齢(5歳階級別)人口

(単位 人、%)

年齢 (歳)	総数	区部	市部	町村部	構成比			
					総数	区部	市部	町村部
総数	11 823 029	7 967 602	3 762 984	92 443	100	100	100	100
0～4	482 817	309 543	169 479	3 795	4.08	3.89	4.50	4.11
5～9	465 081	293 646	167 306	4 129	3.93	3.69	4.45	4.47
10～14	479 331	302 272	172 396	4 663	4.05	3.79	4.58	5.04
15～19	580 666	365 963	209 267	5 436	4.91	4.59	5.56	5.88
20～24	895 930	590 781	299 929	5 220	7.58	7.41	7.97	5.65
25～29	1 119 250	772 236	340 945	6 069	9.47	9.69	9.06	6.57
30～34	1 023 874	706 135	312 266	5 473	8.66	8.86	8.30	5.92
35～39	878 916	600 451	273 182	5 283	7.43	7.54	7.26	5.71
40～44	720 255	488 640	226 322	5 293	6.09	6.13	6.01	5.73
45～49	754 626	505 263	242 572	6 791	6.38	6.34	6.45	7.35
50～54	968 785	653 764	306 341	8 680	8.19	8.21	8.14	9.39
55～59	819 473	550 784	261 837	6 852	6.93	6.91	6.96	7.41
60～64	729 226	493 892	229 522	5 812	6.17	6.20	6.10	6.29
65～69	657 398	453 417	198 455	5 526	5.56	5.69	5.27	5.98
70～74	498 467	347 699	146 045	4 723	4.22	4.36	3.88	5.11
75～79	348 033	247 986	96 298	3 749	2.94	3.11	2.56	4.06
80～84	214 770	153 214	59 069	2 487	1.82	1.92	1.57	2.69
85～89	126 253	89 837	34 832	1 584	1.07	1.13	0.93	1.71
90歳以上	59 868	42 075	16 915	878	0.51	0.53	0.45	0.95
不詳者	10	4	6		0	0	0	

(2) 10歳階級別構成比

人口総数を10歳階級別の構成比で見ると、20歳代が17.04%で最も高く、次いで30歳代(16.09%)、50歳代(15.13%)の順となっている。

次に、10年前の構成比と比べると、0~20歳代及び40歳代では低下しており、30歳代及び50歳代以上の階級では上昇している。

(表4、図2参照)

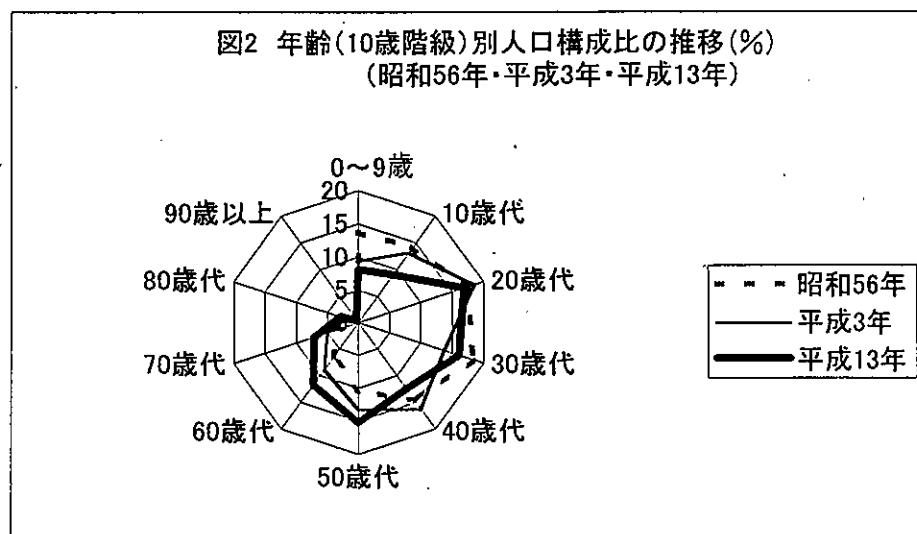


表4 男女別人口の年齢(10歳階級)別構成比及び性比の推移(56年・3年・13年)

年 齢	昭和56年			平成3年			平成13年			性比(女100人につき男)		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	56年	3年	13年
総 数	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100.8	101.0	99.3
0~9歳	13.61	13.91	13.32	9.24	9.41	9.06	8.02	8.25	7.79	105.3	104.9	105.1
10歳代	14.23	14.57	13.89	13.02	13.31	12.73	8.97	9.20	8.73	105.8	105.6	105.2
20歳代	17.55	18.94	16.15	18.51	19.98	17.03	17.04	17.86	16.24	118.2	118.5	109.4
30歳代	18.32	18.85	17.78	13.80	14.55	13.04	16.09	17.06	15.14	106.9	112.7	112.0
40歳代	14.62	14.3	14.94	16.27	16.35	16.18	12.47	12.94	12.01	96.5	102.1	105.8
50歳代	10.32	9.61	11.03	13.27	12.88	13.67	15.13	15.20	15.05	87.9	95.2	97.2
60歳代	6.46	5.69	7.23	8.85	8.01	9.70	11.73	11.17	12.29	79.3	83.5	88.3
70歳代	3.75	3.26	4.24	4.90	3.99	5.83	7.16	6.09	8.22	77.4	69.1	64.9
80歳代	1.07	0.82	1.32	1.92	1.40	2.45	2.88	1.97	3.79	62.5	57.7	47.9
90歳以上	0.08	0.05	0.11	0.21	0.12	0.30	0.51	0.26	0.75	44.1	40.8	35.2

(注) 総数には年齢不詳者を含む。

(3) 10歳階級別人口性比

人口性比を10歳階級別にみると、30歳代が112.0で最も高く、次いで20歳代(109.4)、40歳代(105.8)の順となっている。

人口性比は50歳代で100を割り、年代が進むにつれて低くなっている。

(表4参照)

3 年齢3区分別人口

(1) 年齢3区分別人口の推移

人口総数を年齢3区分別に見ると、年少人口(0~14歳)は、1,427,229人で、前年に比べ2,925人(0.20%)の減少となっており、昭和51年以降減少が続いている。人口総数に占める割合は12.07%であり、20年前の昭和56年(20.72%)に比べ8.65ポイント減少している。

生産年齢人口(15~64歳)は、8,491,001人で、前年に比べ6,435人(0.08%)の減少となり、2年ぶりに減少に転じた。また、人口総数に占める割合は平成5年以降低下を続け、71.82%となり、20年前(71.37%)とほぼ同じ割合となっている。

老年人口(65歳以上)は、1,904,789人で、前年に比べ82,041人(4.50%)の増加となっており、調査開始以来一貫して増加している。人口総数に占める割合は16.11%で、20年前(7.91%)に比べ、2倍以上に上昇している。

表5-1 年齢(3区分)別人口の推移(平成3年~平成13年) (単位 人、%)

年次	年少人口			生産年齢人口			老年人口(総数)		
	人口	増減人口	増加率	人口	増減人口	増加率	人口	増減人口	増加率
平成3	1,712,004	△ 65,411	△ 3.68	8,706,731	1,471	0.02	1,266,165	50,809	4.18
4	1,656,726	△ 55,278	△ 3.23	8,708,151	1,420	0.02	1,318,412	52,247	4.13
5	1,605,905	△ 50,821	△ 3.07	8,688,396	△ 19,755	△ 0.23	1,371,902	53,490	4.06
6	1,557,250	△ 48,655	△ 3.03	8,641,549	△ 46,847	△ 0.54	1,428,756	56,854	4.14
7	1,521,495	△ 35,755	△ 2.30	8,590,559	△ 50,990	△ 0.59	1,486,560	57,804	4.05
8	1,491,832	△ 29,663	△ 1.95	8,549,947	△ 40,612	△ 0.47	1,545,928	59,368	3.99
9	1,468,773	△ 23,059	△ 1.55	8,521,425	△ 28,522	△ 0.33	1,612,425	66,497	4.30
10	1,452,699	△ 16,074	△ 1.09	8,503,421	△ 18,004	△ 0.21	1,685,171	72,746	4.51
11	1,440,642	△ 12,057	△ 0.83	8,496,695	△ 6,726	△ 0.08	1,757,581	72,410	4.30
12	1,430,154	△ 10,488	△ 0.73	8,497,436	741	0.01	1,822,748	65,167	3.71
13年	1,427,229	△ 2,925	△ 0.20	8,491,001	△ 6,435	△ 0.08	1,904,789	82,041	4.50

表 5-1 年齢（3区分）別人口の推移（平成3年～平成13年）（続き）
（単位 人、%）

年次	老年人口(70歳以上)			老年人口(75歳以上)		
	人口	増減人口	増加率	人口	増減人口	増加率
平成 3	822,312	28,398	3.58	501,455	20,059	4.17
4	852,706	30,394	3.70	519,950	18,495	3.69
5	882,964	30,258	3.55	538,984	19,034	3.66
6	915,063	32,099	3.64	554,187	15,203	2.82
7	952,995	37,932	4.15	574,111	19,924	3.60
8	998,471	45,476	4.77	597,993	23,882	4.16
9	1,046,281	47,810	4.79	624,960	26,967	4.51
10	1,094,464	48,183	4.61	651,159	26,199	4.19
11	1,145,862	51,398	4.70	679,437	28,278	4.34
12	1,193,987	48,125	4.20	709,247	29,810	4.39
13年	1,247,391	53,404	4.47	748,924	39,677	5.59

表 5-2 年齢（3区分）別人口及び構成比の推移（平成3年～平成13年）（単位 人、%）

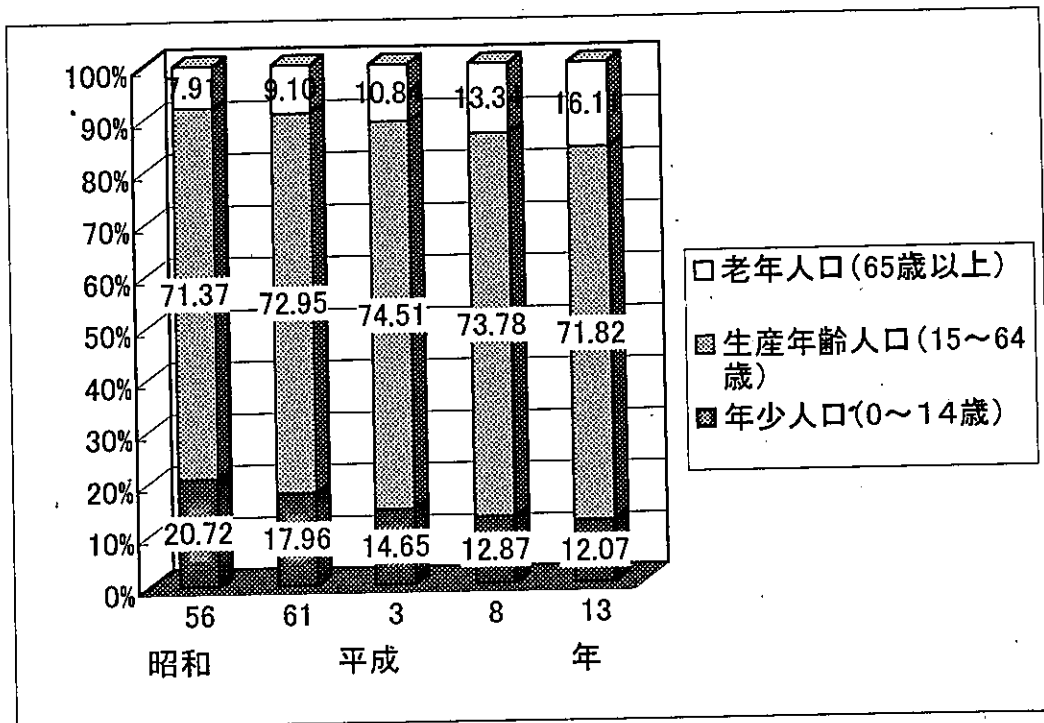
年次	年少人口		生産年齢人口		老年人口(総数)		(70歳以上)		(75歳以上)	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
	平成 3	1,712,004	14.65	8,706,731	74.51	1,266,165	10.84	822,312	7.04	501,455
4	1,656,726	14.18	8,708,151	74.53	1,318,412	11.28	852,706	7.30	519,950	4.45
5	1,605,905	13.77	8,688,396	74.47	1,371,902	11.76	882,964	7.57	538,984	4.62
6	1,557,250	13.39	8,641,549	74.32	1,428,756	12.29	915,063	7.87	554,187	4.77
7	1,521,495	13.12	8,590,559	74.07	1,486,560	12.82	952,995	8.22	574,111	4.95
8	1,491,832	12.87	8,549,947	73.78	1,545,928	13.34	998,471	8.62	597,993	5.16
9	1,468,773	12.66	8,521,425	73.44	1,612,425	13.90	1,046,281	9.02	624,960	5.39
10	1,452,699	12.48	8,503,421	73.05	1,685,171	14.48	1,094,464	9.40	651,159	5.59
11	1,440,642	12.32	8,496,695	72.65	1,757,581	15.03	1,145,862	9.80	679,437	5.81
12	1,430,154	12.17	8,497,436	72.32	1,822,748	15.51	1,193,987	10.16	709,247	6.04
13年	1,427,229	12.07	8,491,001	71.82	1,904,789	16.11	1,247,391	10.55	748,924	6.33

(注) 総数には年齢不詳者を含む。

なお、老年人口のうちの70歳以上は、1,247,391人で前年に比べ53,404人(4.47%)の増加で人口総数に占める割合は10.55%となり、また、75歳以上は748,924人で前年に比べ39,677(5.59%)の増加で人口総数に占める割合は6.33%となっている。

(表5-1、表5-2、図3、参考表第4表～第6表参照)

図3 年齢(3区分)別人口(構成比)の推移(昭和56年～平成13年)



(2) 地域別比較

年齢3区分別人口の構成比を地域別にみると、年少人口の割合は、町村部(13.62%)が最も高く、次いで市部(13.53%)、区部(11.36%)の順となっている。

生産年齢人口の割合は、区部(71.89%)が最も高く、次いで市部(71.81%)、町村部(65.89%)の順となっている。

老年人口の割合は、町村部(20.50%)が最も高く、次いで区部(16.75%)、市部(14.66%)の順となっている。特に、島部の町村(25.13%)で高くなっている。

(表6参照)

表6 地域別、年齢(3区分)別人口

(単位 人、%)

地 域	総 数		年 少 人 口		生 産 年 齢 人 口		老 年 人 口	
	人 口	構 成 比	人 口	構 成 比	人 口	構 成 比	人 口	構 成 比
総 数	11 823 029	100.00	1 427 229	12.07	8 491 001	71.82	1 904 789	16.11
区 部	7 967 602	100.00	905 461	11.36	5 727 909	71.89	1 334 228	16.75
市 部	3 762 984	100.00	509 181	13.53	2 702 183	71.81	551 614	14.66
町 村 部	92 443	100.00	12 587	13.62	60 909	65.89	18 947	20.50
郡 部	61 003	100.00	8 255	13.53	41 702	68.36	11 046	18.11
島 部	31 440	100.00	4 332	13.78	19 207	61.09	7 901	25.13

(注) 総数には不詳者を含む。

(3) 区市町村別比較

年齢3区分別人口の構成比を区市町村別にみると、年少人口の割合は、青ヶ島村(20.29%)が最も高く、都全体(12.07%)に比べ8.22ポイント高くなっている。次いで、御蔵島村(20.21%)、神津島村(17.01%)の順となっている。最も低いのは渋谷区(8.63%)で、次いで、豊島区(8.90%)、新宿区(9.12%)の順となっている。

生産年齢人口の割合は、多摩市(75.42%)が最も高く、都全体(71.82%)に比べ3.60ポイント高くなっている。次いで、小笠原村(74.25%)、渋谷区(74.12%)の順となっている。最も低いのは檜原村(54.45%)で、次いで、三宅村(57.49%)、新島村(58.20%)の順となっている。

老年人口の割合は、檜原村(36.01%)が最も高く、都全体(16.11%)に比べ19.90ポイント高くなっている。次いで、奥多摩町(31.27%)、新島村(30.21%)の順となっている。最も低いのは小笠原村(9.84%)で、次いで、稲城市(11.19%)、多摩市(11.42%)の順となっている。

(表7参照)

4 平均年齢

平均年齢は、41.41歳と前年に比べ0.28歳高くなっている。これを男女別にみると、男性40.07歳、女性42.75歳と女性の方が2.68歳高くなっている。

地域別にみると町村部の43.76歳が最も高く、次いで、区部(41.93歳)、市部(40.26歳)の順となっており、いずれの地域でも上昇が続いている。

区市町村別にみると、檜原村の51.39歳が最も高く、次いで、奥多摩町(49.70歳)、新島村(49.05歳)の順となっている。最も低いのは小笠原村の37.94歳で、次いで、稲城市(38.55歳)、羽村市(38.61歳)の順となっている。

(表7, 表8参照)

表7 区市町村別平均年齢及び年齢(3区分)別人口の割合

地 域	平均 年齢 (歳)	年齢(3区分)別人口の割合(%)			地 域	平均 年齢 (歳)	年齢(3区分)別人口の割合(%)		
		0~14歳	15~64歳	65歳以上			0~14歳	15~64歳	65歳以上
総 数	41.41	12.07	71.82	16.11					
区 部	41.93	11.36	71.89	16.75	田 無 市	40.63	13.38	71.07	15.55
千代田区	43.74	11.32	68.32	20.35	保 谷 市	41.37	13.09	69.73	17.18
中央区	42.47	12.02	70.59	17.39	福 生 市	39.54	15.16	71.17	13.67
中港区	43.11	10.23	71.95	17.83	狛 江 市	41.22	11.12	72.86	16.01
新宿区	43.20	9.12	72.54	18.34	東 大 和 市	40.14	14.94	70.95	14.11
文京区	43.05	10.31	70.82	18.87	清 瀬 市	41.88	13.39	69.51	17.10
台東区	45.73	9.53	68.46	22.01	東久留米市	40.77	13.93	71.05	15.02
墨田区	43.48	10.89	70.54	18.57	武蔵村山市	39.71	15.44	71.44	13.12
江東区	42.26	11.24	73.04	15.72	多 摩 市	39.26	13.16	75.42	11.42
品川区	42.85	9.94	72.65	17.42	稲 城 市	38.55	15.30	73.51	11.19
目黒区	42.14	9.99	73.03	16.98	羽 村 市	38.61	16.11	72.07	11.83
大田区	42.12	11.44	71.78	16.78	あきる野市	41.20	14.82	69.30	15.88
世田谷区	41.07	10.79	73.30	15.91	町 村 部	43.76	13.62	65.89	20.50
渋谷区	42.61	8.63	74.12	17.26	郡 部	42.56	13.53	68.36	18.11
中野区	42.19	9.33	73.10	17.57	瑞 穂 町	39.36	16.01	71.05	12.94
杉並区	41.72	9.81	73.27	16.92	日 の 出 町	43.89	11.33	69.97	18.70
豊島区	43.16	8.90	72.64	18.46	檜 原 村	51.39	9.54	54.45	36.01
北区	44.26	10.00	69.95	20.05	奥 多 摩 町	49.70	9.29	59.44	31.27
荒川区	43.99	11.20	68.87	19.93	島 部	46.08	13.78	61.09	25.13
板橋区	41.45	11.73	72.23	16.04	大 島 支 庁	46.66	13.04	60.69	26.27
練馬区	40.48	13.34	71.22	15.45	大 島 町	46.70	12.63	61.52	25.85
足立区	41.47	13.41	70.71	15.87	利 島 村	46.16	11.78	63.97	24.24
葛飾区	41.97	12.94	70.06	17.00	新 島 村	49.05	11.59	58.20	30.21
江戸川区	39.20	14.73	72.40	12.86	神 津 島 村	43.20	17.01	60.23	22.76
市 部	40.26	13.53	71.81	14.66	三 宅 支 庁	47.55	13.05	57.78	29.17
八王子市	39.84	13.91	72.14	13.94	三 宅 村	48.15	12.52	57.49	29.99
立川市	40.10	13.50	72.12	14.38	御 蔵 島 村	39.47	20.21	61.70	18.09
武蔵野市	41.29	11.06	72.13	16.81	八 丈 支 庁	46.57	14.73	59.82	25.44
三鷹市	40.59	12.07	72.38	15.55	八 丈 町	46.74	14.61	59.69	25.70
青梅市	40.14	15.35	70.05	14.61	青ヶ島村	38.91	20.29	65.70	14.01
府中市	39.69	13.87	71.88	14.26	小笠原支庁	37.94	15.92	74.25	9.84
昭島市	40.56	14.13	70.94	14.92	小 笠 原 村	37.94	15.92	74.25	9.84
調布市	40.26	12.26	72.81	14.93					
町田市	40.72	13.26	72.31	14.43					
小金井市	40.13	12.86	71.75	15.38					
小平市	39.86	14.13	70.84	15.02					
小日野市	40.21	12.93	72.60	14.47					
東村山市	41.23	14.02	69.30	16.68					
国分寺市	40.15	12.27	72.72	15.01					
国立市	39.62	13.88	71.62	14.50					

表 8 地域別、男女別平均年齢の推移 (昭和 56 年～平成 13 年)

(単位 歳)

地 域		56 年	61 年	3 年	8 年	9 年	10 年	11 年	12 年	13 年
総 数	総 数	33.73	35.60	37.66	39.79	40.17	40.51	40.83	41.13	41.41
	区 部	34.41	36.25	38.34	40.46	40.81	41.12	41.41	41.68	41.93
	市 部	31.91	33.98	36.11	38.32	38.76	39.17	39.55	39.91	40.26
	町村部	33.71	35.44	37.45	41.14	41.77	42.31	42.80	43.32	43.76
	郡 部	32.37	34.24	36.34	39.68	40.40	40.96	41.50	42.09	42.56
	島 部	38.10	39.84	41.95	43.90	44.38	44.91	45.31	45.68	46.08
男	総 数	32.68	34.42	36.40	38.48	38.86	39.20	39.50	39.80	40.07
	区 部	33.27	34.97	36.99	39.09	39.44	39.75	40.03	40.30	40.54
	市 部	31.13	33.06	35.04	37.18	37.61	38.00	38.36	38.70	39.04
	町村部	32.79	34.35	36.31	39.77	40.34	40.83	41.28	41.75	42.13
	郡 部	31.63	33.28	35.32	38.42	39.06	39.55	40.04	40.58	40.97
	島 部	36.65	38.38	40.34	42.36	42.81	43.31	43.66	44.02	44.37
女	総 数	34.78	36.79	38.94	41.09	41.48	41.83	42.15	42.45	42.75
	区 部	35.55	37.53	39.68	41.81	42.16	42.48	42.77	43.04	43.30
	市 部	32.73	34.93	37.22	39.48	39.94	40.36	40.76	41.13	41.50
	町村部	34.65	36.57	38.64	42.54	43.24	43.83	44.37	44.92	45.43
	郡 部	33.14	35.25	37.41	40.98	41.79	42.41	42.99	43.64	44.19
	島 部	39.55	41.30	43.59	45.47	45.97	46.53	46.99	47.38	47.83

5 年齢構造指数

年少人口指数は前年と同じ 16.8 であったが、老年人口指数は 22.4 と 0.9 ポイント上昇している。

年少人口指数は昭和 51 年以降の低下傾向が下げ止まったものの、老年人口指数は調査開始以来一貫して上昇を続けている。

従属人口指数は前年より 0.9 ポイント上昇し、39.2 となった。

老年化指数は前年より 6.0 ポイント高い 133.5 となり、10 年前の 74.0 の約 1.8 倍になっている。(表 9, 図 4 参照)

年少人口指数 = (年少人口) ÷ (生産年齢人口) × 100

老年人口指数 = (老年人口) ÷ (生産年齢人口) × 100

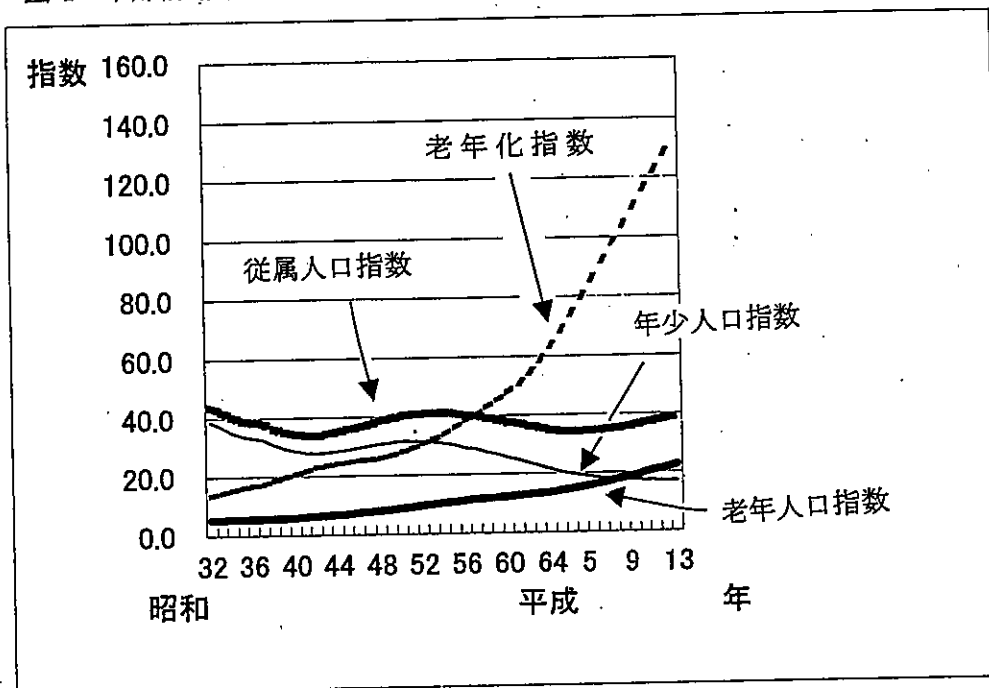
従属人口指数 = {(年少人口) + (老年人口)} ÷ (生産年齢人口) × 100

老年化指数 = (老年人口) ÷ (年少人口) × 100

表9 年齢構造指数の推移 (昭和56年～平成13年)

構造指数	昭和56年	61	平成3	8	9	10	11	12	13
年少人口指数	29.0	24.6	19.7	17.4	17.2	17.1	17.0	16.8	16.8
老年人口指数	11.1	12.5	14.5	18.1	18.9	19.8	20.7	21.5	22.4
従属人口指数	40.1	37.1	34.2	35.5	36.2	36.9	37.6	38.3	39.2
老年化指数	38.2	50.7	74.0	103.6	109.8	116.0	122.0	127.5	133.5

図4 年齢構造指数の推移 (昭和32年～平成13年)



6 世帯数

世帯総数は5,489,639世帯で前年に比べ87,977世帯(1.63%)の増加となった。1世帯当たりの人員は調査開始以来一貫して減少を続け、2.15人と前年に比べ0.03人少なくなっている。

これを地域別にみると、区部は3,859,532世帯で、前年に比べ61,758世帯(1.63%)、市部は1,592,610世帯で25,800世帯(1.65%)、町村部は37,497世帯で419世帯(1.13%)とそれぞれ増加している。1世帯当たりの人員は、町村部の2.47人が最も多く、次いで、市部(2.36人)、区部(2.06人)の順となっている。

区市町村別にみると、世田谷区が394,307世帯で最も多く、次いで、大田区(304,978世帯)、練馬区(292,305世帯)の順となっている。最も少ないのは青ヶ島村(119世帯)で、次いで、御蔵島村(137世帯)、利島村(160世帯)の順となっている。

1世帯当たりの人員はあきる野市・瑞穂町・日の出町・神津島村の4市町村が2.79人で

最も多く、次いで武蔵村山市の2.69人の順となっている。最も少ないのは青ヶ島村の1.74人で、次いで、渋谷区(1.79人)、小笠原村(1.80人)の順となっている。

(表10、表11、統計表第1表、第4表、参考表第7表参照)

表10 地域別世帯数の推移(平成3年～平成13年)

(単位 世帯、%)

年次	総数			区部			市部			町村部		
	世帯数	増減数	増減率	世帯数	増減数	増減率	世帯数	増減数	増減率	世帯数	増減数	増減率
平成3	4 890 903	48 850	1.01	3 508 572	18 907	0.54	1 349 916	29 378	2.22	32 415	565	1.77
4	4 947 560	56 657	1.16	3 533 490	24 918	0.71	1 381 149	31 233	2.31	32 921	506	1.56
5	4 994 278	46 718	0.94	3 551 171	17 681	0.50	1 409 694	28 545	2.07	33 413	492	1.49
6	5 023 585	29 307	0.59	3 559 036	7 865	0.22	1 430 530	20 836	1.48	34 019	606	1.81
7	5 054 473	30 888	0.61	3 573 202	14 166	0.40	1 446 762	16 232	1.13	34 509	490	1.44
8	5 103 541	49 068	0.97	3 601 358	28 156	0.79	1 467 096	20 334	1.41	35 087	578	1.67
9	5 166 041	62 500	1.22	3 642 018	40 660	1.13	1 488 332	21 236	1.45	35 691	604	1.72
10	5 239 545	73 504	1.42	3 690 179	48 161	1.32	1 513 242	24 910	1.67	36 124	433	1.21
11	5 324 604	85 059	1.62	3 745 344	55 165	1.49	1 542 626	29 384	1.94	36 634	510	1.41
12	5 401 662	77 058	1.45	3 797 774	52 430	1.40	1 566 810	24 184	1.57	37 078	444	1.21
13年	5 489 639	87 977	1.63	3 859 532	61 758	1.63	1 592 610	25 800	1.65	37 497	419	1.13

表11 1世帯当り人員の推移(昭和56年～平成13年)

(単位 人)

地域	昭和56年	61	平成3	8	9	10	11	12	13
総数	2.61	2.50	2.39	2.27	2.25	2.22	2.20	2.18	2.15
区部	2.50	2.40	2.29	2.18	2.15	2.13	2.11	2.09	2.06
市部	2.90	2.79	2.63	2.49	2.46	2.44	2.40	2.38	2.36
町村部	3.20	3.06	2.87	2.67	2.62	2.57	2.53	2.50	2.47

図 5-1 人口の年齢構造(平成13年1月1日現在)

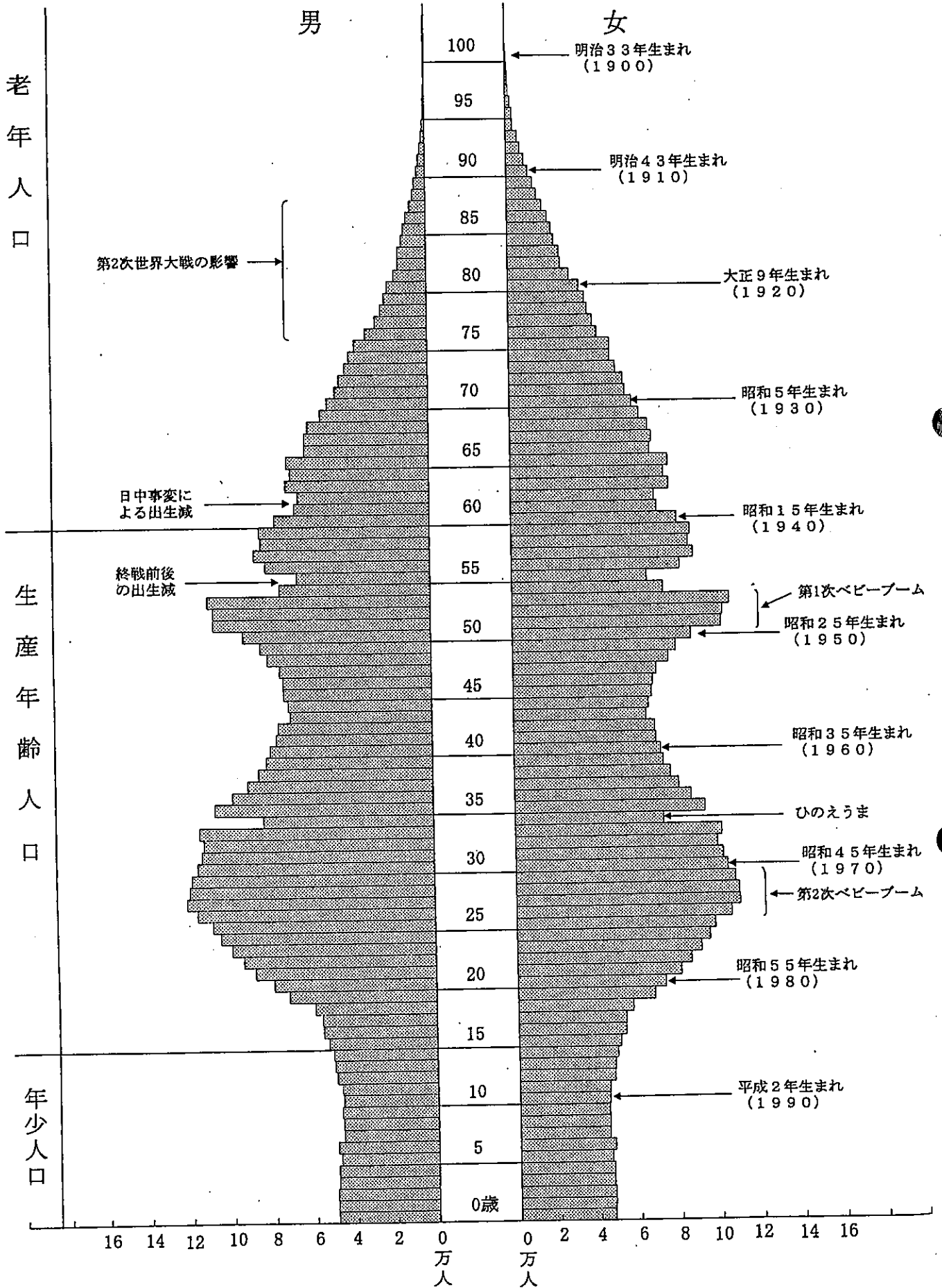


図 5-2 人口の年齢構造(昭和56年・平成13年)

